

# プロジェクトマネジメント講座

## 11.5 リスクマネジメント リスク対応計画

### 11.5.2 リスク対応計画【ツールと技法】

- マイナスのリスクもしくは脅威に対する戦略
    - ・回避…  
特定したリスクを0（完全になくす）にする対応計画。そのためには、プロジェクト計画も変更する場合もある。
    - ・転嫁…  
第3者への転嫁。回避のように、特定したリスクが無くなることはなく、第3者が特定したリスクに対して全責任を負うことになる。例として保険加入などがある。
    - ・軽減…  
特定したリスクを最大限まで（許容できるレベルまで）低下させる対応計画。回避との違いは、軽減の場合、特定したリスクが少し残っている状況になる。例としては、新規プロジェクトにおいてテスト回数を増加させるなどがある。
  
  - プラスのリスクもしくは好機に対する戦略
    - ・活用 …  
特定したプラスのリスクが、確実に到来するための対応計画。確実に到来するようにするためには、プロジェクト計画も変更する場合もある（**回避の逆**）。
    - ・共有 …  
プラスのリスクをもっとも活かし、収益が上げられる人・企業と提携すること。1社で受け持つことができない大きなプロジェクトを数社で担当するなどの対応計画。
    - ・強化 …  
特定したプラスのリスクを最大限まで増加させる対応計画。そのためには、プラスのリスクを引き起こす原因に直接働きかけることで、最大にさせる（**軽減の逆**）。
  
  - 脅威（マイナスリスク）・好機（プラスリスク）両面戦略
    - ・受動的受容 … 何もせず、ひたすらリスクを受け入れる
    - ・能動的受容 … コンティンジェンシー予備（コスト・スケジュール・資源）を用意して、リスクが発生した段階でコンティンジェンシー予備を使用する。
- (ex：道路工事)
- 道路工事によって、予測通り、道路が渋滞している。そのまま渋滞に入る（受動的受容）
- 道路が渋滞している状況で、予備計画を基に、回避方法を考える（能動的受容）

### **11.5.3 リスク対応計画【アウトプット】**

- プロジェクトマネジメント計画書更新版 …

リスク対応計画に結果により、新しい作業、修正すべき作業、除外すべき作業が明確になる。つまり状況によってはベースライン（スコープ、タイム、コスト）を変更する場合がある。

- プロジェクト文書更新版 …

プロジェクト文書の中に含まれるリスク登録簿には、具体的な対応、行動などを記載される

- ・ 残存リスク … リスク対応はしたが、対応後もリスクが残っている
- ・ 2次リスク … リスク対応をした結果として、新たに発生したリスク

## **11.6 リスクマネジメント リスクコントロール**

---

本プロセスの主な役割としては、新たなリスクの発生やリスクプロセスの有効性の評価を行う。具体的には、識別済みリスクの追跡と監視・トリガーの監視・既存リスク・新規リスクの再査定・残存リスクの監視・コンティンジェンシー予備の更新などがある。

### **11.6.2 リスクコントロール【ツールと技法】**

- リスク再査定 … トリガーなども含め、リスク登録簿を基にして、新しいリスクの特定を行う
- リスク監査 … リスク監査人がプロジェクト全体を通して、リスクプロセスの有効性の評価を行う

用語として

- 迂回策計画 … 是正処置を行うために、全く未計画のマイナスのリスクに対する対応方法